

配偶者等からの暴力に関する実態調査
(報告書)

平成 15 年 3 月

内閣府男女共同参画局

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査項目	1
3	調査対象	1
4	調査時期	1
5	調査方法	1
6	調査実施委託機関	1
7	回収結果	2
8	回答者の属性	2
	(1) 性別	2
	(2) 年齢	2
	(3) 未既婚	3
	(4) 子どもの有無	4
	(5) 職業	5
9	この報告書を読む際の注意	7
II	調査結果の概要	8
1	夫婦のあり方についての意識	8
	(1) 「男性は外で働き、女性は家で家事・子育てをするものである」という考え方	8
	(2) 「夫の言うことを素直に聞き入れる妻が、『よい妻』である」という考え方	10
	(3) 「しつけや教育のために、夫が妻をたたくのは、やむを得ないことである」という考え方	12
2	配偶者等からの暴力についての意識	14
	(1) 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(配偶者暴力防止法)の周知度	14
	(2) 身近な人の中での配偶者暴力被害者の有無	16
	(3) 相談窓口の周知	17
	(4) 夫婦間暴力と認識される行為	21
	(5) 公的機関等の関与の必要性についての意識	42
3	配偶者等への加害経験	51
	(1) 配偶者や恋人の有無	51
	(2) 配偶者等への加害経験	53
4	配偶者等からの被害経験	73
5	18歳になるまでの家庭における暴力の経験	96